

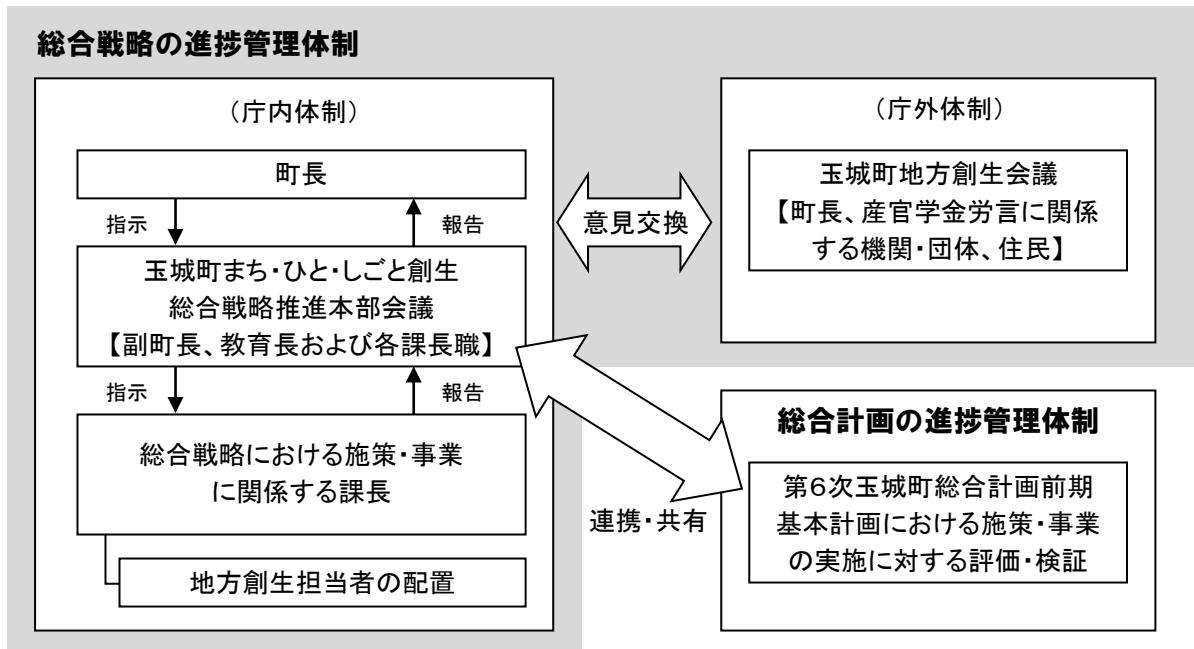
玉城町総合戦略における進捗管理について

玉城町総合戦略（以下、本戦略という。）における進捗管理について、その仕組みや進捗管理体制等について以下に示します。

1. 本戦略の進捗管理の体制

本戦略の進捗管理にあたっては、住民、関係機関・団体、企業、行政等の多様な主体が参画した進捗確認・検証する体制づくりに努めます。また、令和3年度からスタートしました、第6次玉城町総合計画前期基本計画（以下、総合計画という）と整合・連携を図った進捗管理に努めます。

■進捗管理の体制図

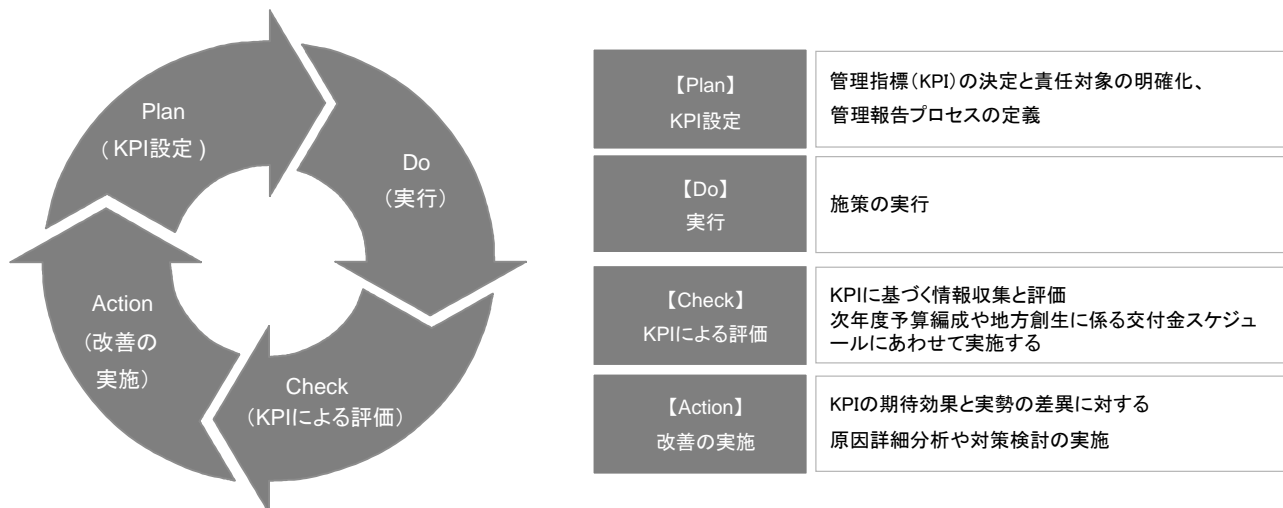


■総合戦略の進捗管理に係る組織等の概要

町長	総合戦略における施策・事業に関する課長
本戦略の進捗状況の報告やそれに伴い今後取り組むべき事案(施策・事業)に対して、庁内の最終意思決定を行う。	関係する総合戦略施策・事業の進捗状況の把握に向けて、数値目標や KPI の整理や施策・事業の取り組み状況と課題の整理を行う。なお、整理業務や定期的な状況把握を行う担当者を配置することで、着実な進捗管理につなげる。
玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議	玉城町地方創生会議
副町長を議長とし、教育長及び庁内の全課長職の者で組織し、本戦略の取り組み状況の確認や進捗課題に対する改善策の検討を行う。町長に報告する庁内案の決定機関とする。	町長を議長とし、産官学金労言(企業、行政、大学、金融機関、マスコミ関係者)および住民代表者から組織し、「玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」にて確認・検討された本戦略の進捗状況や評価内容について審議、提言を行う。

2. 「PDCA サイクル」による進行管理 ※玉城町総合戦略の再掲（一部）

本戦略の推進にあたっては、基本目標ごとに施策内容と具体的な取組を示すとともに、取組の効果を検証するために数値目標（重要目標達成指標）と重要業績評価指標（KPI）を設定して、PDCAサイクル（計画策定（Plan）、推進（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action））により進行管理を行い、実効性を高めます。

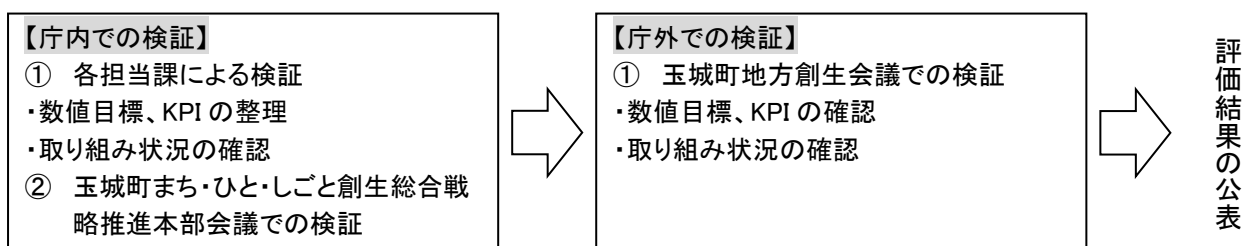


3. 評価方法

本戦略の評価にあたっては、各施策の効果を客観的に検証できる数値目標や指標（重要業績評価指標（KPI））に基づいて進捗状況の確認・改善点の明確化を行います。

■評価の流れ

庁内での進捗確認を行った後、その結果を庁外組織（玉城町地方創生会議）に報告し、最終的に議会報告等の公表を行います。



■評価方法等

施策・事業の評価にあたっては、5年後の令和7年度を評価基準とした数値目標やKPIに基づいて行います。

なお、数値目標やKPIの達成に向けては、各年での進捗評価を行うことが必要なため、毎年度「施策・事業検証シート」（別添参照）を担当課に配布し、年度ごとの取り組み状況の確認を行います。